



活躍する中央OB・OG

今回は、避難訓練などでお世話になっている、本校、第1期生の鶴岡地区消防事務組合 駅前分署に勤務されている本間 真悟さん取材しました。

私は、鶴岡中央高校第1期生として入学し、2001年3月に卒業しました。現在は鶴岡地区消防事務組合に就職し、消防職員として2年目を迎えました。職場では事業所などへ防災訓練の指導に伺ったり、災害に対応するために訓練やトレーニングに励んだり、充実した日々を送っています。火災現場に出動すれば緊迫した状況の中での仕事ですが、私はこの仕事を選んだことを誇りに思います。また、6月には中央高校の避難訓練にも伺い、仕事を通じて母校に帰ることができたことをうれしく思いました。

『消防士になりたい』というのが小さいころからの私の夢でした。その思いは進路を決定する時期になるとより強いものになりました。消防の仕事詳しく調べてみると、救急件数や医療の進歩に伴い、「救急救命士」という資格が必要とされていることを知り、それからは、自分もその資格を取得し、消防士として災害現場の最前線で活躍したいと強く思うようになりました。卒業後は医療系の専門学校の救急救命士科に進学し、救急医療に関する勉強と、消防職員になるための勉強を重ね、結果としては2つの目標を達成させることができました。

私が中央高校の皆さんに伝えたいことは、将来の夢ややりたいことを見つけ、それを叶えるための目標をたくさん持ってほしいということです。目標を達成するためには、多少の努力は必要かとは思いますが、その目標をすべて達成したときにはきっと夢が叶っていることでしょう。最後に、苦しい時に私を支えてくれた中央高校時代の恩師の言葉があります。

「遠回りしたっていいじゃないか。そこにゴールがあるなら」
中央高校のみなさんのご活躍をお祈りしております。

部活動紹介 美術部

鶴岡中央高校美術部 富樫 美月

私たち、美術部は、1年次16名、2年次9名、3年次11名の計34名という人数の多い部活動です。「美術」と一括りにはなっていますが、活動内容は絵画、デザイン、陶芸等、個人によって様々です。個々で活動する内容や製作する作品が違うとはいっても、お互いの作品に対する意見を交換しあったり、顧問の先生方よりアドバイスをいただいたりと活発に声が交わされているので、個人作業ながらも連帯感があり、製作しやすい環境が自然と出来上がっています。



今年度10月20日から22日まで酒田市で開催された、山形県高等学校美術展には5つの作品を出展し、特選・総合文化祭賞、更に、奨励賞・文化連盟賞を受賞するという高い成績を残すことができました。この美術展は県内、全ての高校から数百作もの作品が出展されるとも大きな展覧会であり、この美術展で良い成績を残せたことは、我が部の誇りでもあります。

現在、美術部は次の展覧会である田川地区高校美術展(11月26日開催)に向けての個人製作に取り組んでいます。残りの製作期間は短いですが、満足いく作品に仕上がるよう精一杯頑張っていきたいです。

文化部の活動

合唱部
第6回定期演奏会
8月1日 盛況開催

山形県高等学校総合文化祭
書道
優秀賞 小林 玲奈 石崎 加奈

山形県高校美術展美術工芸部門
特選・総合文化祭賞 安達 彩可
奨励賞・文化連盟賞 大瀧 彩

編集後記

少しずつ冬の足音が聞こえる時期となりました。学校から見える鳥海山にも雪が降ったようです。10月に2学期がスタートし、新人戦や県高等学校総合文化祭、そして1・2年次のインターンシップや2年次修学旅行など様々な行事がありました。3年次生は、個々の進路目標実現のために就職試験や入学試験に臨み、着実に卒業後の進路を決定しています。

さて、「時代は中央」第5号をお届けいたします。作成にあたり、快く原稿依頼を引き受けていただきました皆様には感謝申し上げます。また、今後も生徒の活躍を中心に、中央高校を多くの方々より理解していただけるような広報誌の作成に努めたいと思います。

本紙またはホームページについてのご意見・ご質問等は「問い合わせ先」までご連絡ください。今後ともよろしくお願いいたします。

問い合わせ先
鶴岡中央高等学校
〒997-0017
山形県鶴岡市大字宝寺字日本国410
TEL 0235-25-5724
ホームページアドレス <http://www.tsuruokachuo-h.ed.jp/>
メールアドレス kouhou@tsuruokachuo-h.ed.jp
広報担当：本間美加，金谷 伸一，井上 祐

一日総合大学 2005 in 鶴岡中央



今年も「1日総合大学「2005 IN 鶴岡中央」と銘打って、県内外の大学から先生方をお招きし、年次の垣根を越えて、鶴岡中央校生全員が大学の講義を体験しました。

生徒会執行部

私たち生徒会執行部16名は、「KEEP GOING AHEAD」のスローガンの下、先輩たちの伝統を引き継ぎ、新しい伝統をつくるため、それぞれの考えを出し合い、今までにない活動を計画中です。今はクールでおとなしい男の子・女の子ですが、みなさんを盛り上げ一緒に進みたいと思います。まだまだ、未熟ではありますが、1年間よろしくお願ひします。

2005、06 鶴岡中央高校 生徒会スローガン



部活動 各種大会で大活躍！！

東北新人大会 アーチェリー
板垣 裕香 優勝！

弓道部 長年にわたる活躍が評価され、
全国表彰を受けました。
全国高等学校総合体育大会弓道競技50周年記念事業
「全国高等学校総合体育大会弓道競技出場通算10回以上出場校」全国表彰受賞。
(主催 全国高等学校体育連盟弓道専門部)

新人戦県大会

弓道
女子団体第1位

第58回秋季東北地区高校野球大会山形県大会 鶴岡工業を破り県大会出場！

アーチェリー
女子個人 板垣裕香 第2位
男子個人 須田竜介 第3位

男子バドミントン
団体ベスト8

新人戦地区大会

女子サッカー 優勝
剣道女子個人 佐々木美佳 第1位

アーチェリー
第32回東北総合体育大会
板垣 裕香(山形県選抜)
岡山国体出場

陸上部
女子砲丸投 第1位 松浦絵湖 東北大会出場
男子円盤投 第3位 奥山諒則 東北大会出場

新体操地区総体個人総合 有賀 なる美 第1位



時代は中央

発行
山形県立鶴岡中央高校
校長 菊地 善教
発行日
平成17年11月21日
(月)

生徒会長	寒河江 核	
副会長	佐藤 陽平	佐藤 美貴
会計	松田 一輝	佐藤 千佳
幹事	阿部 元喜	大津 奈津美
	佐藤 沙織	金野 祐奈
議長	鷹島 健	
副議長	伊藤 瑠美	
書記	菅原 佳央里	浮部 友里可
校風委員長	佐藤 由布子	
文化委員長	兼子 明	
体育委員長	上林 賢	

シリーズ 鶴岡中央のキャリアラム④

～生徒の声～

鶴岡中央高校は普通科・総合学科ともにそれぞれの進路目標にあわせたコース・系列を選択し学習することができます。今回は、実際に学んでいる生徒の声を聞いてみました。

普通科 普通科・医療系志望 3年次 女子

課題数学（選択科目です）の1学期は習熟度別の授業でした。入試はどの学校を受けるかで出題傾向が異なるので、受験校の出題パターンにあっているときとあっていないときがあります。しかし、医療系の受験を考えていますが、自分の受験校のレベルにあった授業で、受験にあたって役に立つ基本事項を学ぶことができました。2学期からは進路別のクラスで授業を受けています。センター試験対策の生徒と一緒に授業で、授業内容もセンター試験対策ですが、基本事項を確実に身につければ、医療系の受験にも対応する力がつくと思います。



普通科・国公立大学教育学部志望 3年次 男子

英語では40～50行の長文読解や文法、イディオムなどを学習しています。イディオムは文章ごと覚えるようにしています。私は目標が決まっているので、毎日の授業すべてが充実しており、目標につながっていくと思います。数学では2学期に入ってから進路別のクラス編成になりました。授業では本番のセンター試験と同じ形式で作られた教材を使っています。1回の授業につき1問の解説が行われるので、予習の必要性を実感します、しかし、予習のときに解答を見てもわからなかったことが授業を受けるとわかるようになります。もちろん復習は欠かせません。また、授業では必要な基本事項が必ず説明されるので、弱点項目の発見や対策もできます。

普通科・国公立大学地域育文化学部志望 3年次 女子

私が普段の学習の中心にしている科目は地学です。地学では天体・気象・火山・岩石の組成など多くのことを学習します。暗記事項が多いので、暗記の苦手な私は苦勞します。そこで「語呂合わせ」などを利用して、確実に覚えるよう工夫しています。しかし、授業や補習では実際の岩石を見たり、フーコーの振り子というもので地球が自転していることを実際に自分の目で確認したりと、充実した学習ができます。

語呂合わせの例：かきくけろうんも＝有色鉱物（かんらん石、輝石、角閃石、黒雲母）

総合学科 家政科学系列 被服系 2年次 女子

私がこの系列を選んだ理由は、将来の夢であるデザイナーになるための基礎知識を高校で学んでおきたいと思ったからです。「被服製作」の授業では、服を作るための知識や技術を身につけるための実践的な授業を行っています。そして、その技術をより確かなものにするために検定試験に挑戦しています。「服飾文化」では、世界の衣服のルーツなど、服飾の歴史について学んでいます。昔の衣服と今の流行に意外な共通点を見つけることもあり、私にとってもとても新鮮な時間です。現在はその歴史服を和紙で再現しています。他にも、手芸・色彩・デザインなど被服に関する様々なことを学びます。夢の実現を目指す私にとって、刺激のある充実した毎日です。



家政科学系列 保育系 2年次 女子

中央高校の家政科学系列保育系には主に二つの授業があります。一つは「発達と保育」です。この授業では乳幼児の身体の発達の特徴や養護の仕方など乳幼児に関する様々なことを学び、実際に保育所に行き、子供と触れ合うことができます。乳幼児の世話などの実習もあります。もう一つは、「児童文化」です。絵本の読み聞かせや紙芝居づくり、おもちゃづくりなど、私達自身が子供の心を感じながら制作しています。今は、「光る泥だんご」を一生懸命作っています。（右の写真）私達16名は「保育士になりたい」「子どもと向き合える人になりたい」という決意を強く持ち、仲良く楽しく授業を受け日々頑張っています。

家政科学系列 食物系 2年次 女子

私たちは4人で弁当コンクールに出場し、優秀賞をいただきました。おかげで、庄内の食材をたくさん使ったものを考えました。エビを桜エビの衣で揚げたものや、月山筍とカラフルなピーマンを牛肉で巻いて焼いたもの、ゆで卵をグラタン風に焼いたもの、そしてごはんはだだちゃ豆ご飯にしました。作業は4人でそれぞれ分担し、協力して弁当を完成させることができました。他の人たちの弁当は、すごくおいしそうで見てもよく、栄養バランスがよくて勝ち目がないと思っていました。しかし、私たちの弁当が優秀賞に選ばれました。初めて出場した弁当コンテストで優秀賞を取ることができとても嬉しかったです。そして、来年もまた挑戦したいです。



社会福祉系列 3年次 女子

私が社会福祉系列を選んだ理由は、中学生の頃から人の役に立つ仕事をしたいと考えており、私の中では「介護」ということが身近にあったからです。この系列では、医学の基礎知識から社会福祉に関する制度、介護に関する知識・技術など様々なことを学んでいます。社会福祉現場実習では、現場で実践的な介護技術や対人援助技術を学ぶことができます。その中で、現場の厳しさを痛感しながらも、利用者の言葉や笑顔が一番の喜びとなり、やりがいのある仕事だと感じることができました。他に私がこの系列の特色だと思うことは、友人同士お互いに気持ちを高め合う雰囲気があるということです。人数も少ない為、皆仲良くまとまりがあり授業も活気に溢れています。私もそのような環境の中で過ごしていくうちに、学習への意欲を高めることができました。現在私たちは、介護福祉国家資格取得のために日々学習や努力を重ねています。選択者全員の合格を目標にこれからも互いに高め合っていきたいです。



国際交流系列 2年次 女子

私は、英語が得意なわけではなく、むしろ何がなんだかよくわかりませんでした。しかし、私は英語が好きで、会話ができるようになることに憧れていたし、国際的なことにも興味があったので国際交流系列を選択しました。また、私は将来ホテル業界への就職を考えているのですが、ホテル業に関わらず企業においては語学力のある人材を求めるところが多いようです。この系列では、主に英文法やその用法、意味を深く理解する授業をしています。ウィリアム先生と異文化について学ぶ授業もしています。すべてが英語なので戸惑うこともあります、外国人とのコミュニケーション能力が身につきます。今は実用英語検定上級合格を目指してみんな頑張っているところです。毎日英語を学び、自分に英語を定着させることで、確実に英語の力が身につけてきていると感じています。



情報科学系列 情報処理系 2年次 女子

情報科学系列の学習では、OA実習や簿記、ビジネス基礎や文書デザインという科目を履修しています。OA実習や文書デザインではパソコンを使ってExcelやWordのアプリケーションソフトを使って学習し、検定を受け資格取得を目標に頑張っています。簿記では、企業の財産の増減変化等について学び企業会計についての基礎知識を学んでいます。また、ビジネス基礎ではビジネスに関することはもちろん、社会人としてのマナーについても学習する機会があります。私は将来、事務関係の仕事に就きたいと思っています。事務関係の仕事に就くにあたっては、やはりパソコンを使いこなせることが重要だと思います。情報科学系列で学んだことを活かして自分の進路希望を叶えたいと思います。



簿記会計系 3年次 男子

私が情報科学系列を選んだのは、簿記や情報といった実務を学ぶことの面白さと、最も世の中のことが理解できるようになれることに魅力を感じたからです。系列での学習は大変有意義なものでした。勉強の楽しさを覚えることができ、多くの検定に挑戦し合格することで、簿記や情報処理に関する資格を取得することもできました。また、3年間の学習の総まとめとして取り組んだことを「山形県生徒商業研究発表大会」という大きな舞台で発表するという、大変貴重な経験をさせていただきました。系列での学習をこのような素晴らしい形でまとめることができたのは、とても印象深いことであり、光栄に思っています。進路目標は四年生大学へ進学することです。大学へは系列で学習したこと、取得した資格を生かして受験の準備をしてきました。入学できたときには、系列で学んだことを基礎とし、さらに広く専門的なことを学び、地域に貢献できる人間になりたいと思います。